



KOKUYO

熊本市とコクヨ株式会社との

新たなワークスタイルの実証実験に関する連携協定の締結について

1 社会環境の変化



新型コロナウイルスの感染拡大やデジタル技術の発達により、テレワークやウェブ会議が浸透

2 行政のデジタル化



市民が安心、快適さを実感できる行政運営を目指し、行政DXを強かに推進

3 市役所改革の推進



前例にとらわれることなく、社会変化や市民ニーズを的確に捉え、行政サービスの質の向上を図る市役所改革の推進

熊本市とコクヨにて連携協定を締結、変化する行政オフィスに対応した、新たなワークスタイルの実践・検証を行う

Before

自席、紙等
物理的に縛られた職場環境

階層順に配置された
画一的なデスク・レイアウト

仕事は自席でするものという慣例
による、旧態依然とした働き方

自課・他課職員との
コミュニケーションが生まれにくい
閉鎖的なオフィス

モデルオフィスコンセプト

- 仕事内容に応じて、働く場所を自由に選べる多様なオフィス
- 柔軟なレイアウト変更ができ、常に進化できるオフィス
- 役職にかかわらず職員全体が自ら考え自ら行動するオフィス
- 他部署職員とのコミュニケーションを深め、新たなイノベーションを生み出すオフィス

After

グループアドレスやペーパーレス等
により物理的縛りを解消

可変性がある机などの導入
により、自由なレイアウトを実現

テレワークの徹底や多様なワーク
プレイスにより、業務内容等に応じて
働く場所を選択

オープンなオフィスで多様な
コミュニケーションを促進

- 新たなワークスタイルの実証実験にあたり、上記コンセプトに基づいたモデルオフィスを開設（熊本市本庁舎6階 改革プロジェクト推進課内）
- モデルオフィスは「行政オフィスにおける新たな働き方」という共通課題の解決法を模索している熊本市とコクヨが協働し企画、それぞれ以下の役割にて実現
 - ・ 場所の提供、働き方の実証トライアル（熊本市）
 - ・ 最新の事務機器の設置と実証結果の分析（コクヨ）

【期間】

令和3年（2021年）10月6日～令和4年（2022年）2月28日

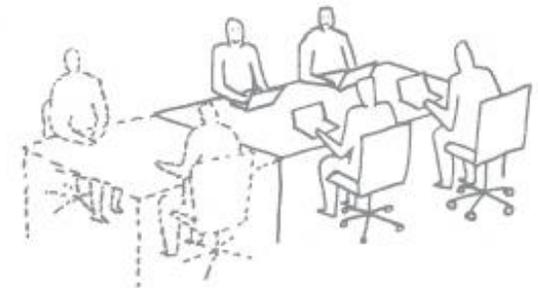
【主な実施内容】

- ・ 自席を持たないグループアドレスの導入
- ・ ウェブ会議や集中して業務が可能な新たなワークスペースの導入
- ・ テレワークとオフィスワークを組み合わせた「ハイブリッドワーク」等、新たなワークルールの導入
- ・ モニターや共有ツール活用等によるペーパーレスの徹底



【期待する効果】

- ・ 生産性向上による市民サービスの向上
- ・ 活発なコミュニケーション促進によるイノベーションの創出
- ・ 新たなワークスペースの有効性、実現性検証
- ・ テレワークが日常となる働き方の浸透
- ・ ペーパーレスやウェブ会議の更なる推進
- ・ 職員の改革マインドの醸成 等



モデルオフィス イメージ写真



モデルオフィス全景



ウェブ会議に対応した
簡易集中ブース



ペーパーレスミーティング
の実践



収納庫上部を活用した
立ちミーティング



新たなアイデアを生む
ミーティングコーナー



チームの集中を高める
ミーティングブース



1人で思考するための
カウンター席



ウェブ会議にも対応し
た集中ブース